



TETRA+GRAPH

お問い合わせ先

〒812-0026 福岡市博多区上川端町9-35 リノベーションミュージアム冷泉荘 A12号 冷泉荘事務局 (11:00~19:00, 火曜定休)

電話/FAX 092-985-4562 mail yj@fenjinpark.com http://www.reizensou.com/

twitter @reizensou

Facebook www.facebook.com/reizensou/

冷泉荘 交通アクセス

地下鉄空港線中洲川端駅下車・5番出口から川端商店街をキャナルシティ方向へ。博多らーめんを左折し、博多消防署冷泉出張所手前の小道を左折。＊駐車場はございません。

リノベーションミュージアム 冷泉荘とは・・・

ビルストック文化の学び合い、そして発信の場

博多区上川端町で築60年を迎える昭和のレトロビル、リノベーションミュージアム冷泉荘。「福岡の古い建物を大切に活かす(ビルストック活用)」を基本理念に、「ひと」「まち」「文化」を大切に思う人たちが集まっています。2011年1月には耐震補強工事を行い、2012年、第25回福岡市都市景観賞 活動部門にて部門賞受賞。100年続く活動を目指して「持続的」で「環境型」の建物として文化発信を行なっています。



cover model B25号 まちづくり屋さん 地域を元気にする活動をしているまちづくり屋さんです。8月11日の山の日に開催の福岡県東峰村のどんたくを地域団体つくしカウンスルの一員として応援しています。水害からの復興を願う初開催のイベントです。博多どんたくも復興祈願として始まり、今では全国屈指のにぎわいです。東峰村どんたくも、そうなんと良いですね。

column REIZENYOU 8月 ドネルモ伝 11

アーセナルという呪い篇①

2018年7月14日午後11時。世界中のフットボールファンはワールドカップ3位決定戦を固唾を飲んで見入っていたはずだ。一方その頃、「グーナー」と呼ばれる人々は、アーセナル対ポアハムウッド戦(半分素人相手の練習試合)にかぶりついてたに違いない。だって、新生アーセナル始動なのだ。いわんや、グッパイ、ワールドカップなのだ。とはいえ、4年に1度のワールドカップを捨て、ただの練習試合を選ぶその徴候は、アーセン・ヴェンゲル翁(前アーセナル監督)が22年の年月を費やし、いつかかなる時もアーセナルファーストであるようにと、じくくりコトコト我々にかけた呪いのせいなので致し方ない。そう、STILL ILLなのだ。

アーセナル(ARSENAL)は、イギリスの首都ロンドン北部をホームタウンとする、プロサッカークラブである。これまでリーグ優勝13回、FAカップ優勝13回など多くのタイトルを獲得しており、2003-2004シーズンには無敵優勝を記録。当時のチームは「THE INVINCIBLES(無敵)」という称号をもって讃えられた。愛称は「ガナース(GUNNERS)」。そして、そのサポートは「グーナー(GOONER)」と呼ばれる。

「なんだ、ただのサッカーサポの話か」と思うことなかれ。このアーセナルは、「極上のプロレス団体」とか「応援すること自体がマゾヒズム」とか言われてしまう非常に稀有なサッカーチームである。これら数回に渡って、アーセン・ヴェンゲル翁の呪いとはいかなるものだったのか。アーセン・ヴェンゲル翁が去った今、そろそろその呪いも解けるのかについてお伝えしたい。

【今月の担当】 宮田智史 (NPO法人ドネルモ/事務局長)

冷泉荘 プロデュース スペースRデザインの レトロビルこぼなし

茶山ゴコ緑のカーテン作り & 持ち寄り食事会

現代社会で希薄といわれる、大切なことと実感できた茶山ゴコの一日。その様子をお伝えしたいと思います! 猛暑の中、入居者の方と2人で緑のカーテン作りを行いました。工程ごとに試行錯誤し、時には失敗したり、大笑いしたりしながら無事に完成しました! 昨年も茶山ゴコでは緑のカーテンを実施していて、室内に布のカーテンがいらず、また室内にても外の緑が目に入り、とても良かったそうなのです。夏の強い日差しを遮り、また

同時に緑を眺めることもできる。自然の力を再認識しました。今回種えたのは、朝顔とサンシェードブルー。成長が楽しみです。 作業後は、お仕事が終わった他の入居者さんとも合流していつもの持ち寄り食事会を開催しました。それぞれが持ち寄る食材は個性豊かで、みんなで食べるのと美味しさもひとしお。忙しいときに、日常のゴミ出しを他の方が代わりにしてくれるお話や、お仕事に関するお話など、茶山ゴコの中でいろいろな助け合いが生まれていくのが分かりました。現代社会で希薄になったといわれる、人との関わり合いが、茶山ゴコでは育まれているのだと思います。 「同じ家に住みながら、近すぎずも、お互いを思いやり、助け合う」これがシェアハウス「茶山ゴコ」のカチチなのだと感じました。

◎茶山ゴコ 木造戸建てシェア&ワークハウス https://www.space-r.net/rent/chayamagoco しんの(スペースRデザイン/スタッフ)



よく頑張ってきた優しいあなたへ

とつても大きなストレスが掛る人との付き合いがありました。人には色々なストレスが、毎日ありますよね。思いがけなく蕁麻疹が出ていました。身体的には原因不明です。 原因はちょっと判りました。過去に受けた痛みが頭の中でその嫌な思いを「反芻(はんすう)」してしまっただけ。その人と会ったらまた同じ思いをするんじゃないか? 悔しい想いをすんじゃないか? 悩みが消化されずに熟成してしまっただけに不安や敵対心までも表れていこうと曇ってしまっただけ。 そんな時の偏頭痛は薬も効かないから。過去に捕らわれていると今が見えない。心がここに無かったんですね。そんな時はヨガをする。ヨガ=チッタブリッティニローダだから。ヨガは心の作用を止める事。チッタ・・・こころ(は)ブリッティ・・・小さなゴミ(みだいなもの



よく頑張ってきた優しいあなたへ

に作用される)ニローダ・・・消しちゃいましょう! 消せたらいいよね。頭のなかのモヤモヤ。そうしたらもっと案に生きられ流のに。そんな時は、マントラ唱えたり、ストレッチをしたり、瞑想したりする。あれ? ヨガは? これもヨガですよ。そして、もうひとつは脳の書き換えをしなきゃ。過去は変えられないから。思い悩む事は忘れトイレの水に流す用に・・・そして今を感じられるようになる。 5感を録える。なんて難かしらうけど、自然の中にとけ込む。気持ちいい・良い香り・美味しい・素敵な景色・綺麗な音色とか感じられるのって人それぞれだけど。やっぱり自然か〜。ふんわりと雲の上に居るようなリラックスしてした環境を作ろう。そして自分にとって優しい環境に身を委ねよう。 高橋ひとよ (ウラエラ・ヨガ&ピラティススタジオ代表/美・Body salon ナブア代表)

冷泉荘入居者紹介

Grid of business listings including Tetra+Graph, nano Architects, FAN, tripinsight, Donner le mot, Lyrica Musica, Rill Bagel, Hibikino Denshi, and others.

劇団Hallbrothers夏の特別公演 『あの人、賃貸だから』ショートバージョン 『わたし、三階です』リーディング同時上演

作・演出:幸田真洋 出演:『あの人、賃貸だから』萩原あや/永倉亜沙美/唐島絵祐 /とん。/下田夏希/幸田真洋 『わたし、三階です』木村晴香/永倉亜沙美/萩原あや 8月4日(土) 18:30~、5日(日) 13:00~ 場所: B棟1階 2コ1多目的スペース 料金: 前売1,000円/当日1,300円 【ご予約】http://www.h-bros.net 【問】090-8410-4267 / FAX092-926-1256

タニグチダイスケ写真展「装飾古墳」 タニグチダイスケと巡る絵のある古墳Vol.3

九州の装飾古墳を中心に、古墳写真家タニグチダイスケの視線で巡る古墳巡りを一緒に、初日は17:00からオープニングパーティを開催します。あなたにとって、特別な古墳が増える。知識が深まる。そんな3日間になりますように。 日時: 8月6日(月)~8日(水) 6日(月) 13:00~17:00 [17:00~オープニングパーティ]、7日(火)・8日(水) 11:00~16:00 場所: B棟1階 冷泉荘ギャラリー 【詳細】https://www.facebook.com/events/845072549021133/

1年ぶりに「そろそろ、DUO」

終戦から10ヶ月が過ぎた東北、津軽半島の僻村。いやおうなく訪れる新しい時代に、国民学校教師、野中弥一はとまどっていた。太宰治の晩年の戯曲を劇団誠(せい)が新作オペラとして上演します。 作: 太宰治 演出: 井口誠司 音楽: 森洋一 8月26日(日) 14時、27日(月) 19時半、28日(火) 19時半、30日(木) 19時半、31日(金) 19時半、9月1日(土) 14時 / 17時、9月2日(日) 14時 場所: B棟1階 2コ1多目的スペース 料金: 前売2,500円/当日3,000円※別途ドリンク 演奏: 永見行楽、zerokichi 日時: 8月7日(火) 開場19:00/開演19:30 場所: A31号 アトリウム種音 料金: 予約2,500円/当日3,000円※別途ドリンク 演奏: 永見行楽、zerokichi 【予約】070-5534-1114(ヒサ) info@yakuin-records.com ◎件名→8/7穂音 ◎本文→名前、人数、連絡先

第6回! こどもアートアトリエ@冷泉荘

工作大好き! お絵かき大好き! なおさまに人気のイベント! 約100種類の絵画・工作・手芸画材から子どもたちがそれぞれ好きな画材を選んで自由創作するイベント。約束は2つだけ。「危ないことはしない」、「おもちゃの創作の邪魔をしない」それ以外は何をしてもOK! 日時: 8月10日(金)~8月12日(日) [午前の部] 11:00~12:30 / [午後の部] 14:30~16:00 場所: B棟1階 冷泉荘ギャラリー 対象年齢: 3歳前後~小学生(応相談) 体験料金: ひとり¥3,000(画材費・消費税込) / ふたり¥5,000(きょうだい割引) *2回目以降の方は通常料金 通常料金: ひとり¥3,780、ふたり¥6,400(きょうだい割引) 【予約】https://reservab.be/soraironotanecolors

「博多祇園山笠 西流」~山崎伸子 写真展~

2005年から撮り始めた博多祇園山笠 西流。12年分の中から、少しずつ選んで展示します。 日時: 8月14日(火)~20日(月) 10:00~19:00 [15日(水) 10:00~20:00、20日(月) 16:00まで] 場所: B棟1階 冷泉荘ギャラリー 【詳細】https://www.facebook.com/events/1685036118198702/

劇団誠(せい)第二回公演 オペラ春の枯葉

終戦から10ヶ月が過ぎた東北、津軽半島の僻村。いやおうなく訪れる新しい時代に、国民学校教師、野中弥一はとまどっていた。太宰治の晩年の戯曲を劇団誠(せい)が新作オペラとして上演します。 作: 太宰治 演出: 井口誠司 音楽: 森洋一 8月26日(日) 14時、27日(月) 19時半、28日(火) 19時半、30日(木) 19時半、31日(金) 19時半、9月1日(土) 14時 / 17時、9月2日(日) 14時 場所: B棟1階 2コ1多目的スペース 料金: 前売1,500円/学生1,000円/当日立見700円 【予約】gekidansei@gmail.com 【詳細】https://blog.goo.ne.jp/gekidan-sei

サンダーレンズ Thunder Lens* 7月25日(水) 冷泉荘1Fで行われた「博多まちづくりリミットアップ」で、冷泉荘オーナー吉原さんと管理人サンダーさんが登壇。ピンテージビル冷泉荘を手掛けてきた流れや運営論などを展開してくださいました。中でも九州大学の博士号を持ちエリオアナーブの研究でもあるサンダーさんは、風の流れと弦を貼りハープ周辺に流れる色々な風の流れに逆らわずありのまま止めることで音を響かせるエリオアナーブをイメージしながら冷泉荘をプロデュースしているのだそうです。 撮影: 雨宮康子

酒民党员でもある、まちづくり屋さんに聞く! 毎日 in 酒話 ジビエでお酒を 暑い日が続きます。水分と休息をこまめに取らしましょう。今回はジビエの話を。ジビエとは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味するフランス語です。日本では食材としての流通は少なかったのですが、この度、農水省が、品質基準を満たしたジビエにお墨付を与える「国産ジビエ認証」制度を始めました。実際、ジビエに利用されているのはシカで10%、イノシシで5%とかなり厳しい状況

アヒ穂音 日本画家の徒然 葉月 先月は、京都に住む友人の計らいで、祇園祭の7月17日の山鉾巡行に席を取っていただき、共通の友人と見物へ行って参りました。美しい鉾やかわいらしい山、優美でゆくりとした動作とそれぞれで違うお囃子。独特で魅力的です。屋の巡行が終わり夜になると御神輿を担ぎ八坂神社からスタートし町を担ぎ歩き神様を御旅所まで移すのですが、その御神輿担ぎは意外や男性的でした。24日の後祭りに夜に御神輿を担ぎ八坂神社へ神様を戻すそうです。 知れば知るほどに博多の祇園祭との共通点もかいま見ながら、魅力的なお囃子の音色に昔住んでいた頃、何度か顧に來たのを懐かし思い出しつつ、京都の暑さと共にたっぷり味わって参りました。やはりお祭りというのは、この土地の祭りも、伝統的なしきたりや、なぜやるようになったのかの本來持つ意味も含め、残していきたいもので素晴らしいものだと、つくづく思います。 今回別の用件もあり、ご依頼いただき、日本画の白の絵具として使われる胡粉の作り方を教わつ、参加者にも一緒に作ることを体験してもらい、最後にガラスの風鈴の和紙短冊へ、作り上げた胡粉を使って運筆の技法で描くという胡粉を作るワークショップ「白に白で描く」を数名の方にレクチャーして頂くことも出来ましたし、大事な目的として、借しくも7月初めにご病気で亡くなられた、お世話になった日本画家の村田茂樹先生宅へお礼とお別れを伝えるためにお線香を上げに行ってくることも出来ました。早過ぎるお別れを悔やんでなりません。そして今でも信じられないが、本当の気持ちです。 作品に対する批評や感想からは、絵を描くに当たっての精神的な構えのようなものを素直になることと共に学ばせてもらったように思います。何を受け取るかは、その人次第であると思いますが、自分はそういうことを受け取りました。本当に人情のある良い先生でした。 アトリイ穂音/日本画家 比佐水音(ヒサミヨ)